

第45回ロビー音楽会 小川典子ピアノリサイタル

With 山下典道（元九響ヴィオラ奏者）



日時：2024年9月2日（月）
開演 18：30～
会場：前田病院外来ロビー

小川典子 ピアノリサイタル

With 山下典道（九州交響楽団ヴィオラ奏者）

プログラム

1. ラヴェル：ソナチネ

第1楽章 中庸に (Modéré)

第2楽章 メヌエットの動きで (Mouvt de Menuet)

第3楽章 活き活きと (Animé)

2. ショパン：ソナタ第2番変ロ短調 作品35

第1楽章 Grave-Doppio movimento (グラーヴェ - ドッピオ・モヴィメント)

第2楽章 Scherzo (スケルツォ)

3. サン・サーンス：白鳥

4. エディット・ピアフ愛の賛歌

ヴィオラ 山下典道 ピアノ 小川典子

休憩

5. ドビュッシー：版画

第1番 塔

第2番 グラナダのタベ

第3番 雨の庭

6. ベートーヴェン：「熱情」 ソナタ 第23番 作品57

第1楽章 Allegro assai

第2楽章 Andante con mot

第3楽章 Allegro ma non troppo-

小川典子(ピアノ)Noriko Ogawa, Piano

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来30年以上、英国と日本を拠点に世界の主要オーケストラ・指揮者との共演や、室内楽、リサイタル等で世界各国へ演奏旅行を行う他、国際的なコンクールでの審査、各国でのマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開中。録音は、BISより35枚目のCD「サティ:ピアノ独奏曲全曲集Vol.“ヴェクサシオン”」、新譜リチャード・ドゥヴニオン「クラヴィレリアーナ」世界初録音発売中。2013、14年にはBBCプロムスへ連続出演。その後ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルグ響、BBC響など英国ツアーのソリストとして共演。またイギリス、フランス、ドイツ、ポーランド、韓国を始め数々の音楽祭にも招聘され、リサイタルやマスタークラスを行う。リーズ国際、グリーク国際、クリーブランド国際コンクール審査員。浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミューザ川崎シンフォニーホールアドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。NAS英国自閉症協会文化大使、イプスウィッチ管弦楽協会名誉パトロン。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、川崎市文化賞受賞。2017年11月にはこれまでの貢献をたたえて英国ギルドホール音楽院より「フェロー」の称号が授与された。著書「夢はピアノとともに」。訳書「静けさの中から」。パンデミック禍も世界中の学生へ語りかけ、オンラインコンサート開催など精力的に行なっている。



オフィシャルHP <http://www.norikoogawa.com/>

山下典道(ヴィオラ)



作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)卒業。卒業後同大学講師を務める。1985 年4月に九州交響楽団ヴィオラ奏者として入団。1988 年から 1994 年まで、福岡教育大学非常勤講師を務める。1993 年店村眞積氏(東京都交響楽団特任首席奏者)との出会いにより「ヴィオラの音」の魅力に深く感銘を覚え、それ以降、店村氏を師と仰ぎ今日に至る。2018年9月22日九州交響楽団を退団。

九州室内合奏団を主催し、「やまちゃん」の愛称で親しまれ、楽しいトークを交えた演奏活動を、九州各地で数多く開催。様々な側面から聴衆を楽しみ音楽の世界へ誘い好評を得ている。2006 年から始めた「Yama ちゃんのおしゃべりコンサート」は 2017 年 6 月に第 52 回目を迎え、アクロス福岡シンフォニーホールにて「スペシャル・ガラコンサート」を開催。満席のお客様全員のスタンディングオベーションで終え、大成功を収めた。アクロス弦楽合奏団として、第 22 回福岡県文化賞(奨励部門)を受賞。



医療法人幸善会 前田病院

〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町 2742-1

TEL 0955-23-5101 FAX 0955-23-3315